

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	次世代腫瘍外科専門医コース（正規課程）（テーマ②）
対象職種・分野	医師・乳腺外科
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんゲノム医療を含むマルチオミクスと臨床情報によるデータに基づく個別化医療の開発に関する指導的研究者</li> <li>・ゲノム検診に結びつく予防について易罹患性、疫学的リスク、がんゲノム医療等を実践できる腫瘍外科医</li> <li>・地域がん診療連携拠点病院で活躍し、患者中心のチーム医療（多職種との連携）を主導する腫瘍外科医</li> <li>・海外や全国規模の臨床試験に積極的に参加する専門医</li> <li>・日本乳癌学会専門医・認定医の取得を目指す腫瘍外科医</li> </ul>
修了要件・履修方法	必修科目を含む医学履修課程の系統講義コース4単位以上、トレーニングコース20単位以上、アドバンスド講義2単位以上、計30単位以上を取得して、論文研究に合格すること。
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;臨床腫瘍学特論I～II*（4単位）、臓器別臨床腫瘍学特論（4単位）、次世代腫瘍予防学特論（2単位）</p> <p>&lt;選択科目&gt;腫瘍外科トレーニングI～III（9単位）、化学療法トレーニングI～III（9単位）、放射線治療トレーニングI～III（9単位）、がんプロ合同セミナー（2単位）、ほかコア科目系統講義コース科目・トレーニングコース科目・アドバンスド講義科目、がんプロ科目トレーニングコース科目。*ゲノム医療、希少がん、小児がん、次世代腫瘍予防、腫瘍研究開発に対応、#遺伝子診療部教育セミナー、希少がん・難治がんカンファレンス、がんセミナー等を含む</p>
がんに関する専門資格との連携	乳腺外科専門医（機構）の基幹施設施設、乳腺専門医（日本乳癌学会）の認定施設として認定。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代がん研究者・医療従事者を養成する講義・実習内容</li> <li>・ゲノム医療として遺伝性腫瘍原因遺伝子（BRCA1/2）検査による薬物療法、予防切除への臨床応用を学ぶとともに、東北メディカルメガバンクや遺伝科と共同して未発症変異保有者への対応を学ぶ。</li> <li>・東北大学病院で令和4年度より開始となったAYA世代がん患者に対する病院横断的な支援体制と多職種との連携の実際を学ぶ</li> <li>・最新の外科手術、薬物療法、および次世代放射線治療による集学的治療の実際と各専門機関との連携の実際を学ぶ。</li> <li>・医療人材の不足している東北地方における医療機関間デジタルネットワーク、およびAI技術の活用を学ぶ。</li> <li>・臨床および基礎研究を指導し、学会活動、論文作成を指導するとともに専門医資格取得に向けた支援を行う。</li> </ul>
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学大学院医学系研究科乳腺・内分泌外科学分野の教授以下の教員8名が中心</li> <li>・腫瘍内科、遺伝科、加齢・老年科、緩和医療科、放射線治療科、血液免疫科、消化器外科、小児科、東北メディカルメガバンク、個別化医療センター等の各々の領域の専門医と連携して指導する。</li> </ul>
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方のがん診療連携拠点病院に勤務し新ニーズを普及・啓発</li> <li>・1～2年後に乳腺認定医、その2年後に乳腺専門医取得</li> <li>・個別化がん医療の開発・普及を担う大学等の腫瘍外科学研究者</li> <li>・東北メディカルメガバンクや個別化医療センターで次世代研究を担う指導者</li> </ul>